

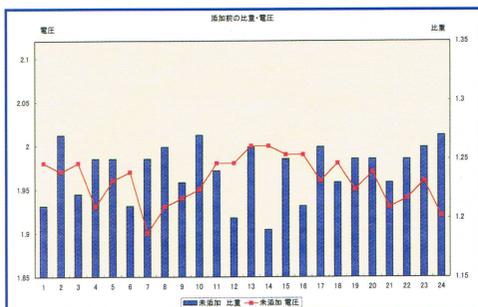
## データで測定できるラスロンGの威力

効果が測定器で簡単に見て取れる。だから安心・納得できる商品です。

ラスロンGの効果はデータで簡単に読み取れます!

### 2つの測定方法から見るラスロンGの効果

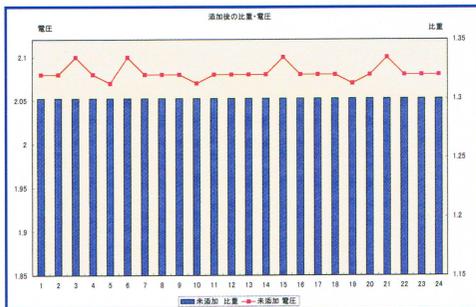
(電動フォークリフト用バッテリーの場合)



▲ラスロンG使用前

比重や電圧に大きなバラつきがあります。使用時間やパワーが当初より大きく劣化しているものと推測できます。

(測定1)



▲ラスロンG使用后

比重・電圧ともにきれいにそろっています。バッテリーがほぼ新品の状態にまで再生されたと言えます。

(測定2)

徳島県立工業技術センターよりラスロンGがバッテリーの比重を回復する証明を得ました。



ラスロンGは平成16年10月14日付で、徳島県立工業技術センターより比重実験成績書を得ることが出来ました。実験は乗用車用の40Ahのバッテリーを使用しています。(測定1)がラスロンGを添加する前のデータです。次にラスロンGを添加し充放電作業を行った後のデータが(測定2)です。各セルとも新品出荷時の比重1.28に近づき、バッテリーが再生されたことを証明しています。

### バッテリーの状態を知るための2つの測定方法

#### ① バッテリー液の濃度(比重)を計る。[満充電時に測定する]

比重計を用いることにより、バッテリー溶液の濃度を測定します。バッテリー内部の極板にサルフェーションの粗大化が進むと、次第に希硫酸の量が減少し、比重は水の比重1に近づいていきます。通常の比重は、乗用車で1.28、電動式フォーク用で1.3程度です。比重計を用いることで、バッテリー内部のサルフェーションの進行、すなわち「劣化」を読みとることができるのです。



◀[A]  
バッテリー液の濃度はほぼ正常です。



◀[B]  
ややサルフェーションが進行していることが想像できます。



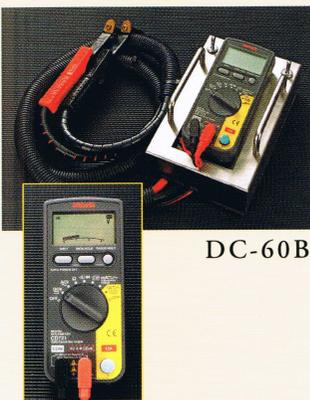
◀[C]  
かなりバッテリー内でサルフェーションが進行しています。



比重計による電動式フォーク用バッテリーの比重測定

#### ② バッテリーの端子電圧を測定する。

バッテリーの電圧は、容量を示す電流と異なり、どのような鉛バッテリーでも一定です。1セルあたりの電圧は2Vですから、乗用車用6セルのものは12V、電動フォーク用24セルのものだと48Vということになります。特に電動のフォークの測定には、アレイジが製作しているDC-60Bというバッテリーチェッカーが有効です。1セル毎の有負荷電圧が正確に測定できますから、全セルの中での故障セルを発見することも可能です。これまで難しかったセル毎の交換で、バッテリーにかかるコストをさらに削減できます。



DC-60B



DC-60Bによる電動式フォーク用バッテリーの電圧測定